

修正ソフトウェア resu

レスの本文にぬるぼがあれば、レスを削除できます。全角数字を半角数字に置換できます。11to7 の組合せを展開できます。10to6, 10to7, 6to5, 7to5, 7to6, 8to5, 8to6, 8to7, 9to5, 9to6, 9to7 も可能です。斜線 (/) があれば、改行できます。組合せに含まれている数字をカウントして表を作成できます。すなわち、さらしの中間集計が可能です。

日付の行

resu コマンドは、2ちゃんねるの日付の行を認識できます。これを利用して、さらなる機能を実行できます。日付および組合せを含めませんが、組合せではない記述を本文から消去できます。日付も消去して、組合せのみ出力できます。レスの本文を出力しないで、日付の行のみ出力できます。レスの本文を出力しないで、ASCII のみからなる日付の行を出力できます。

3行を1行に復旧

ウェブブラウザは、2ちゃんねるの日付の行を3行に分割するおそれがあります。この場合、resu コマンドは、3行を統合して、日付の行を復旧できます。コマンドの例

resu who.txt -3

全角コロン

2ちゃんねるの日付の行に全角コロンが含まれない場合、全角コロンの間に名前があるように、日付の行を再構成できます。この機能により、**旧バージョンの集計ソフトウェアをサポートします。** コマンドの例

resu who.txt -b

日付の行を挿入する

resu コマンドは、日付の行を挿入します。kopic などのロト高速選択ソフトウェアが生成したファイルには、日付の行がありません。zoko などのロト集計ソフトウェアは、日付の行があることを想定しています。2ちゃんねるからコピーして貼り付けて保存したファイルではない場合、日付の行を挿入してください。

zoko の様式

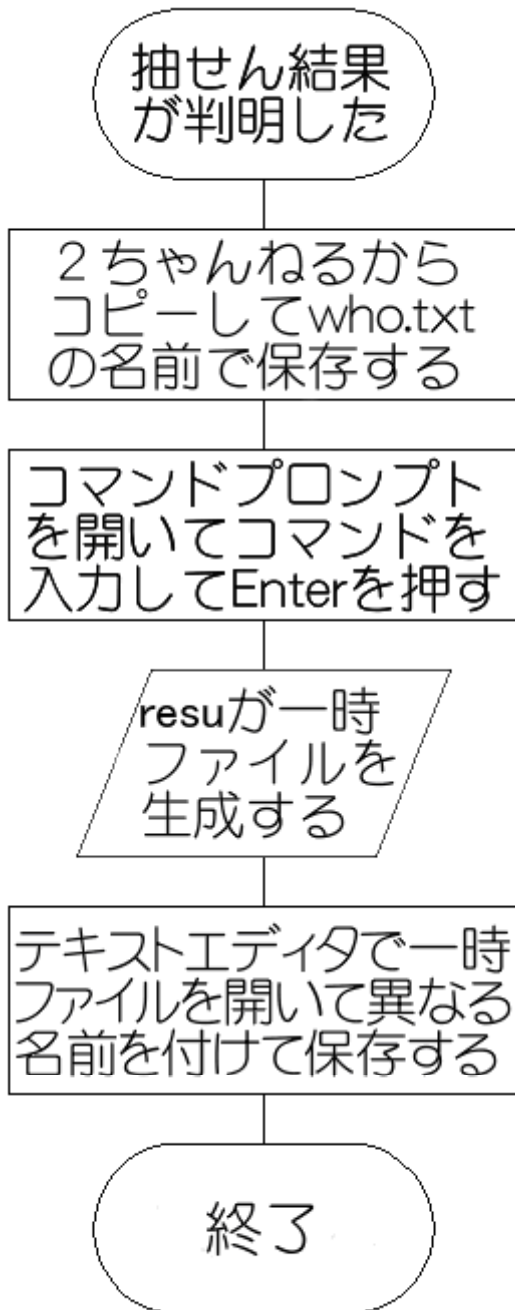
zoko は、ロト7集計ソフトウェアです。日付の行を高速に検出するように、zoko の様式で日付の行を再構成できます。zoko の様式は、記号 (^) が 6 バイト目にあります。日付の行ではないにもかかわらず、zoko 様式の記号 (^) が 6 バイト目であれば、引用符 (`) に置換できます。

概要

まず2ちゃんねるのスレをコピーして、テキストエディタで新しいファイルに貼り付けてください。次に、who.txt という名前で保存してください。resu.exe および who.txt は、同一のフォルダにあります。たとえば、全角コロンの間に名前があるように、日付の行を再構成するには、コマンドプロンプトを開いて、下記のコマンドを入力して、Enter を押してください。

```
resu who.txt b
```

流れ図



インストール

1. ロトサマリーというウェブサイトから resuCxx.zip をダウンロードしてください。
2. resuCxx.zip を展開してください。
3. 利用者は、フォルダの改名および移動が可能です。

フォルダごと削除

アンインストール(プログラムの削除)を行うには、フォルダごと削除します。

実行するには

resu コマンドのアイコンをダブルクリックしないで、コマンドプロンプトにコマンドを入力して Enter を押します。



免責条項

resu コマンドのご利用により発生するいかなる損害も、Sogaya(そがや)は、責任を負わないものとします。

GCC で構築

Windows 2000 のパソコンに Dev-C++という IDE をインストールして、GCC で構築しました。gcc (GCC) 3.4.2 (mingw-special)

bcc32

resuCxx.zip の Cxx は、C++を意味します。C++は、プログラミング言語です。Borland 無料コマンドラインコンパイラ (Borland C++ 5.5.1 for Win32) でも構築できます。bcc32 のフォルダから source_code のフォルダに makefile.mak をコピーします。コマンドの例

make resu.exe

著作権

作者として、Sogaya(そがや)は、resu コマンドの著作権を保有しています。

resu ユーザーズガイド第 1 版

2017 年 8 月 16 日(水)、Revision 1.016

コマンド

どの Windows も最初からコマンドプロンプトを用意しています。コマンドプロンプトを開くには、田の図案があるキー (Windows ロゴキー、Windows キー) を押しながら、R を押してください。[ファイル名を指定して実行] ウィンドウのテキストボックスに、cmd を入力して、OK を押してください。さもなければ、Enter を押してください。黒い背景のウィンドウが開きます。

C ドライブ

右端に>が表示されており、左端に C:¥が表示されていれば、利用者は、C ドライブにいます。現在位置として、カレントドライブは、C です。たとえば、D ドライブがパソコン

に内蔵されていたり、パソコンに接続されていたりします。Dドライブに移動するには、下記のコマンドを入力して Enter を押します。

D:

CD コマンド

Cドライブにいる場合、たとえば、resu というフォルダに移動するには、下記のコマンドを入力して、Enter を押してください。どの Windows も最初から CD コマンドを用意しています。コマンド名は、小文字(cd) でも同じ結果になります。

CD ¥resu

短い説明

Windows が用意したコマンドの短い説明を出力するには、パラメータとして/?を付加してください。

CD **/?**
コマンド パラメータ

DIR コマンド

resu.exe および who.txt は、同一のフォルダにあります。このことを確認するには、たとえば、下記のコマンドを入力して、Enter を押してください。resu.exe があるフォルダに who.txt が存在すれば、日時およびサイズが表示されます。どの Windows も最初から DIR コマンドを用意しています。

DIR who.txt

テキストエディタ

無料のテキストエディタとしては、K2Editor, TeraPad, サクラエディタ、メモ帳などがあります。

第 1 行に結果を記入

まず、ウェブブラウザで2ちゃんねるのスレをコピーして、テキストエディタで新しいファイルに貼り付けてください。次に、resu.exe と同じフォルダに、who.txt の名前を付けて保存してください。ロト7かロト6かミニロトのいずれか判別できるように、第 1 行にロトの結果を記入してください。本数字およびボーナス数字の両方が必要です。記入例

04 05 10 13 28 32 33 19 26 -C -207

セット球

C は、セット球を意味します。宝くじオフィシャルのドリームステーションで、動画の冒頭に、透明の棚が示されます。棚から C の箱が引き出された場合、C セットが使用されたことがわかります。

何回目か

207 は、第 207 回であることを意味します。セット球および回を記入しない場合、集計ソフトウェアは、who.txt の第 1 行の長さが 3 の倍数であることを想定しています。最後に空白が必要です。ロト 7 の場合、空白を含めて 27 文字です。セット球および回を記入しない例

04 05 10 13 28 32 33 19 26

ぬるぼを書くとき集計されない

集計対象ファイルの名前として、who.txt が想定されています。レスの本文に、ぬるぼを書き込むと集計されません。ある行に、ぬるぼが含まれている場合、日付の行を検出するか、集計対象ファイルの終わりに達するまで、レスの本文にあるどの行も無視されます。

レス番号および名前の記憶を消去

-e が指定された場合、日付の行を検出したとき、resu コマンドは、以前のレス番号および名前を出力しないで、記憶を消去します。検出された行にあるレス番号および名前を記憶します。集計対象ファイルの終わりに達した場合、出力する前に、以前のレス番号および名前の記憶を消去します。レスアンカーの半角不等号(">>")しか出力しません。

何も指定されなかった

利用者が何も指定しなかった場合、resu コマンドは、-e が指定されたとみなします。

resu who.txt

ID およびコロン

空白、ID、コロンの連続をレスの本文に書き込むと集計されない規則があります。すなわち、" ID:" は、ぬるぼと同等の効果があります。集計の結果には、ID およびコロンが含まれているため、この規則により集計結果を集計することを防止できます。

引用

引用されたレスには、ID およびコロンがある場合が多い。正確に集計されるように、他人のレスをコピーして貼り付けることを回避してください。

exclude.txt

exclude.txt の第 1 行には、ぬるぼが記入されています。exclude.txt の第 2 行には、"ID:"が記入されています。規則を追加するには、exclude.txt を編集してください。

自動的に作成

exclude.txt を開くことができない場合、resu コマンドは、自動的に exclude.txt を作成して、第 1 行および第 2 行にそれぞれぬるぼおよび" ID:"を記入します。

修正

-z が指定された場合、resu コマンドは、自動的に全角数字を半角数字に修正します。全角英字でALL QPが書き込まれていれば、resu コマンドは、自動的に半角英字に修正します。小文字で all qp が書き込まれていれば、resu コマンドは、自動的に大文字に修正します。

シフト JIS の文字コード

2ちゃんねるは、シフト JIS の文字コードが使用されています。resu コマンドは、シフト JIS のテキストファイルを想定しています。行の先頭から 1 文字ずつ点検して、全角数字を半角数字に修正します。

シフト JIS から ASCII に文字コードを変更する

文字列の置換を行う前に、1 文字ずつ ASCII に修正します。修正は、下表のとおりです。

修正前	修正後
,	
\	
.	
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
a	A
l	L
p	P
q	Q
A	A
L	L
P	P
Q	Q
	!
/	/

drafo.csv

resu コマンドは、drafo.csv という CSV ファイルにしたがって、文字ではなく語句を修正します。CSV は、コンマで区切られた値からなるテキストファイルであり、テキストエディタで閲覧および編集が可能です。CSV エディタまたは表計算ソフトウェアでわかりやすく表示できます。

何を修正するか

利用者は、drafo.csv を編集することで resu コマンドによる修正の増強および省略が可能です。ただし、resu ではなくテキストエディタを利用することを推奨します。テキス

トエディタは、検索および置換が十分にテストされており、文字化けのおそれが少ないと思われます。

バージョン

resu コマンドのバージョンを表示するには、コマンドプロンプトに下記のコマンドを入力して Enter を押してください。短いコメントを付加するには、-VC を指定してください。

resu -VC

```
C:\¥resuCxx>resu -VC
resu C++ Version 1.35

resu -V                # version
resu -VC               # version with comments
resu who.txt -1-      # Remove Line-1.
resu who.txt -3       # Unite three lines to form a date Line.
resu who.txt -6       # Replace carets with quotes.
resu who.txt -a       # ASCII date lines
resu who.txt -b       # Every name is interposed between zenkaku
resu who.txt -c       # Expand 11-to-7 combinations.
resu who.txt -d       # date lines
resu who.txt -e exclude.txt # Every nurupo resu is excluded f
resu who.txt -f       # Every date line is written in the zoko fo
resu who.txt -i       # Include combinations and date lines.
resu who.txt -l       # serial number
resu who.txt -m30     # Ensure the integrity of each 3 x 3 matrix
resu who.txt -n       # Replace slashes with new-line characters.
resu who.txt -o       # Overwrite who.txt
resu who.txt -r-      # Do not remove temporary files.
resu who.txt -t       # Tabulate and reverse-sort.
resu who.txt -u       # unique lines
resu who.txt -w30     # Add a date line whenever 30 lines appear.
resu who.txt -z       # Change characters from zenkaku to hankaku
```

集計対象ファイル

resu コマンドは、第一のファイル名として who.txt を想定しています。who.txt ではない場合、2 個以上のファイル名のうち 1 個めのファイル名として指定してください。

パラメータ

ファイル名ではなく、コマンドのパラメータは、マイナスで始めてください。resu コマンドが認識するパラメータとしては、-1-, -3, -6, -a, -b, -c, -d, -da, -e, -f, -i, -l, -m 数字、-n, -o, -r-, -s, -t, -u, -w 数字、-z, -V, -VC があります。それ以外は、ファイル名として処理されるおそれがあります。who.txt を resu の直後に指定することを推奨します。

ぬるぼおよび ID コロン

resu コマンドは、規則のファイルとして、exclude.txt を想定しています。exclude.txt ではない場合、2 個めのファイルとして指定してください。1 個めのファイルとして who.txt を指定した後、resu コマンドは、パラメータではない指定を 2 個めのファイルとして処理します。

一時ファイルを削除しない

resu コマンドを実行するごとに、一時ファイルが生成します。次に実行する直前に、resu コマンドは、自動的に一時ファイルを削除します。これを防止するには、-r-を指定してください。一時ファイルの名前がコマンドプロンプトに出力されます。一時ファイルの名前は、who 分-秒.txt の形式で命名されます。

上書き

resu コマンドは、一時ファイルを生成することを想定しています。一時ファイルではなく、who.txt の名前にするには、-o を指定してください。上書きされる前に、who.txt のバックアップを行ってください。

resu who.txt -3 -o

who.txt を削除しない

検出されたファイル名は、remove_e.txt に記入されています。remove_e.txt を閲覧すれば、削除される一時ファイルが判明します。who.txt および tabulate.txt は、一時ファイルではないため、**resu コマンドは、who.txt も tabulate も削除しません。**

第 1 行を書き出さない

who.txt の第 1 行に抽せん結果を記入してください。抽せん結果が記入されているため、resu コマンドは、第 1 行を無視しないでそのまま一時ファイルに書き出します。第 1 行を無視して出力を禁止するには、-1-を指定してください。集計したい場合、-1-を指定しないでください。

通し番号

一時ファイルに番号を含めたい場合、まず、serial.txt の第 1 行に数字を記入してください。次に、コマンドのパラメータとして、-1(マイナスエル)を指定してください。たとえば、利用者が serial.txt に 0 を記入した場合、resu コマンドは、0 に 1 を加算して番号を決定して、serial.txt に 1 を記入します。一時ファイルを生成するごとに、resu コマンドは、serial.txt を読み込んで、1 を加算して書き出します。すなわち、通し番号になります。who 番号-分-秒.txt の形式で命名されます。

ボックス買い

-c が指定された場合、ボックス買いとして、組合せの右側に 11to7 が記載されていれ

ば、組合せを展開できます。まず、ボックス買いごとに、resu コマンドは、cmd12-15-50.txt のような通し番号の一時ファイルを生成します。次に、resu コマンドは、cmd12-15-50.txt から組合せを読み込んで、who15-50.txt のような一時ファイルを書き出します。

ロト7かロト6かミニロトか

10to6, 10to7, 6to5, 7to5, 7to6, 8to5, 8to6, 8to7, 9to5, 9to6, 9to7 も可能です。ロト7かロト6かミニロトのいずれか判別できるように、who.txt の第1行にロトの結果を記入してください。ボーナス数字も必要です。

3の倍数

セット球および回を記入しない場合、集計ソフトウェアは、who.txt の第1行の長さが3の倍数であることを想定しています。**セット球および回を記入しない場合、最後に空白が必要です。**ロト7の場合、空白を含めて27文字です。

くじ	文字数	セット球および回を含む文字数
ミニロト	18	23, 24, 25
ロト6	21	26, 27, 28, 29
ロト7	27	32, 33, 34

who.txt の第1行に記入できる例

resu コマンドは、利用者が who.txt の第1行に正しく記入したことを想定しています。resu コマンドは、who.txt の第1行を訂正しません。

```
31 18 15 06 14 25
31 18 15 06 14 25 -A -776
35 29 12 16 13 28 05
35 29 12 16 13 28 05 -B -548
04 26 32 29 05 25 15 27 11
04 26 32 29 05 25 15 27 11 -D -92
1234567890123456789012345678901
```

左の囲みを説明

05, 15 など7個目のボールは、第19桁、第20桁、第21桁からなる欄に記入してください。05 は、ロト6のボーナス数字です。ロト6の本数字およびボーナス数字を記入したら、21文字になります。最後に空白が必要です。

右の囲みを説明

11 など 9 個目のボールは、第 25 桁、第 26 桁、第 27 桁からなる欄に記入してください。11 は、ロト7のボーナス数字です。ロト7の本数字およびボーナス数字を記入したら、27 文字になります。最後に空白が必要です。

斜線で改行

1 行に複数の組合せを書くには、半角の記号で区切る規則があります。半角の記号としては、斜線 (/) があります。1 行に 4 とおりを書き込んだ例

07 09 12 18 22 / 20 24 26 30 31 / 08 09 27 29 31 / 13 15 21 25 26

斜線を省略

半角の記号で区切るルールを守らないひともいますが、各組合せが昇順に書かれていれば、組合せどうしの間で、たいてい降順になるため、resu コマンドは、斜線が無くても区切ることができる場合があります。

組合せどうしの間で降順になる例



-n

-n が指定された場合、resu コマンドは、斜線で改行します。改行を意味する記号を、separate.txt の各行に記入してください。たとえば、separate.txt の第 1 行に / を記入してください。separate.txt の第 2 行に縦線 (|) を記入してください。利用者は、separate.txt を編集することで、規則を変更できます。

日付の行を挿入

集計ソフトウェアは、日付の行があることを想定していません。 kopic は、ロト7高速選択ソフトウェアです。kopic の出力には、日付の行が無いいため、zoko に適していません。

segmen コマンドの機能

resu コマンドは、segmen コマンドの機能を内蔵しています。segmen.txt および rannu.txt が resu.exe と同じフォルダにある場合、resu コマンドは、日付の行を挿入で

きます。利用者は、segmen.txt を修正できます。10 行ごとに日付の行を挿入するコマンドの例

resu who.txt w10

segmen.txt

日付の行を segmen.txt に記入してください。日付の行は、レス番号、名前、日付、曜日、レス時間、ID からなります。resu コマンドは、自動的にレス番号、レス時間、ID を変更します。レス番号は、1 ずつ増加します。レス時間は、25 秒ずつ増加します。レスが 7 連続したら、ID が変更されます。

rannu.txt

-m 数字、-s、-w 数字が指定された場合、新しい ID を生成するために、resu コマンドは、rannu.txt という乱数表を利用します。rannu.txt および segmen.txt のバックアップが rannu のフォルダにあります。

-s

-s が指定された場合、resu コマンドは、30 行ごとに日付の行を挿入します。すなわち、-s は、-w30 と同じ結果になります。

-m 数字

3行3列のビンゴ5を入力する場合、たとえば、-m30 が指定された場合、resu コマンドは、ほぼ 30 行ごとに日付の行を挿入します。30 行以上が出現した場合、3 行 3 列の完全性を確認したとき、日付の行を挿入します。すなわち、正確に 30 行で日付の行を挿入しない場合があります。resu コマンドは、利用者が第 1 行に抽せん結果を記入したことを想定しています。**who.txt の第 1 行にビンゴ5の第 1 行を記入しないでください。** 添付の annuy コマンドを実行して、who.txt ではなく annuy.txt を指定して resu コマンドを実行した例。-m11 を指定したにもかかわらず、正確に 11 行ごとになりません。サクラエディタで表示した例

```
C:\resuCxx>annuy -m -L1000

C:\resuCxx>resu annuy.txt -m11
who1-57.txt

C:\resuCxx>sakura who1-57.txt

C:\resuCxx>
```

```
1 126 : レジエンド ◆LegENDjUXU :
2 05 07 13 ←
3 19 ** 23 ←
4 30 34 40 ←
5 ←
6 02 07 13 ←
7 19 ** 21 ←
8 27 34 37 ←
9 ←
10 01 06 15 ←
11 18 ** 23 ←
12 28 33 40 ←
13 ←
14 03 07 11 ←
15 18 ** 24 ←
16 28 34 40 ←
17 ←
18 127 : レジエンド ◆LegENDjUXU :
19 ←
20 05 06 15 ←
21 16 ** 23 ←
22 26 32 37 ←
23 ←
24 01 06 14 ←
25 17 ** 23 ←
26 20 24 40 ←
```

さらしの中間集計

resu コマンドは、2ちゃんねるの日付の行を無視できるため、さらしの中間集計をほぼ正確に行うことができます。-t がコマンドに指定されている場合、resu コマンドは、標準出力に一時ファイルの名前を出力します。組合せが重複している場合、標準出力に重複の組合せを出力します。

数字が何個あるか

ロト7は、1 から 37 までの数字があります。出力された一時ファイルは、それらの数字が何個あるかカウントして、降順に並べ替えた表です。さらしの中間集計として、降順の表は、ロトのボールの個数を人気が高い順で示すことができます。ID に含まれる数

字、年月日時分秒など、日付の行にある数字は、カウントされません。

第 1 行を書き出さない

-t と一緒に -1- がコマンドに指定されている場合、resu コマンドは、一時ファイルに who.txt の第 1 行を書き出しません。-t と一緒に -1- がコマンドに指定されていない場合、resu コマンドは、tabulate.txt の第 1 行に従います。

tabulate.txt

tabulate.txt の第 1 行に記入されている内容が -1- ではない場合、resu コマンドは、一時ファイルに who.txt の第 1 行を書き出します。降順に並べ替えるには、第 3 行に -1 を記入してください。組合せに含まれている数字をカウントして表を作成するとき、分離する文字列を第 4 行に指定してください。

一時ファイルの拡張子

一時ファイルは、tab 分-秒.txt の形式で命名されます。利用者は、tabulate.txt を編集することで拡張子を変更できます。一時ファイルの拡張子を tabulate.txt の第 2 行に指定してください。

組合せのみ出力

数字が何個あるかの表ではなく、組合せを出力するには、-t ではなく -u を指定してください。-u が指定された場合、resu コマンドは、日付の行を無視して、組合せを昇順に並べ替えて、一時ファイルを生成します。組合せが重複している場合、標準出力に重複の組合せを出力します。

unique.txt

-u と一緒に -1- がコマンドに指定されている場合、resu コマンドは、一時ファイルに who.txt の第 1 行を書き出しません。-u と一緒に -1- がコマンドに指定されていない場合、resu コマンドは、unique.txt の第 1 行に従います。

一時ファイルの拡張子

一時ファイルは、unq 分-秒.txt の形式で命名されます。利用者は、unique.txt を編集することで拡張子を変更できます。一時ファイルの拡張子を unique.txt の第 2 行に指定してください。

自動的に作成

drafo.csv, exclude.txt, segmen.txt, separate.txt, tabulate.txt, unique.txt を開くことができなかつた場合、resu コマンドは、自動的に作成しますが、利用者が指定した機能を実行しないで終了します。この場合、コマンドプロンプトに、同じコマンドを入力して Enter を押してください。

日付の行のみ

-d が指定された場合、resu コマンドは、レスの本文を無視して、日付の行のみ書き出

します。

ASCII

-a が指定された場合、resu コマンドは、レスの本文を無視して、日付の行から漢字を除去して書き出します。すなわち、ASCII のみからなる日付の行を書き出します。

-da

-da は、-a と同じ結果になります。

組合せおよび日付の行

-i が指定された場合、resu コマンドは、組合せおよび日付の行を含めますが、それ以外を消去します。

パラメータ	組合せ	日付の行	説明
-1-			who.txt の第 1 行を削除。
-a	削除	ASCII のみ	漢字を削除して日付の行を出力
-d	削除	出力	日付の行のみ
-i	出力	出力	組合せでも日付の行でもない部分を削除。
-u	出力	削除	昇順に並べ替える。重複の標準出力も行う。

日付の行を再構成

日付の行を高速に検出するように、zoko の様式で日付の行を再構成できます。zoko の様式は、キャレット(caret, ^)が 6 バイト目にあります。集計ソフトウェアは、6 バイト目に^があれば日付の行であると判定できます。

事前編集

日付の行ではないにもかかわらず、6 バイト目に^があるおそれがあります。誤判定を防止するには、-6 を指定してください。-6 が指定された場合、resu コマンドは、**zoko 様式の記号**(^)が 6 バイト目にあれば、シングルクォーテーションマーク (single quotation mark, `)に置換できます。

参考

これは、Shift を押しながら@を押したとき入力される記号です(バッククォート)。

迅速に判定

-f が指定された場合、しかも日付の行を認識した場合、resu コマンドは、その日付の行を分解して、6 バイト目に^があるように、日付の行を再構成します。6 バイト目に^があるかどうかで判定できるため、集計ソフトウェアは、次回から判定が高速になります。